

# 活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

令和8年 1月		令和8年 2月		令和8年 3月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	木	元日			
2	金				
3	土				
4	日				
5	月				
6	火				
7	水				
8	木				
9	金	釧路支部例会			
10	土				
11	日				
12	月	成人の日			
13	火				
14	水	企業防衛エリアマスターズ会(道央・道南)			
15	木				
16	金				
17	土				
18	日				
19	月				
20	火	正副会長会			
21	水	企業防衛制度推進委員会 共済制度推進委員会			
22	木	資産活用委員会 研修会			
23	金				
24	土				
25	日				
26	月	理事会 新春講演会・新年交歓会			
27	火				
28	水				
29	木				
30	金	ウインターセミナー			
31	土	ウインターセミナー			
1	日				
2	月				
3	火				
4	水				
5	木				
6	金				
7	土				
8	日				
9	月				
10	火	正副会長会			
11	水	建国記念の日			
12	木	システム委員会			
13	金	資産活用委員会 橋水部会推進会議 資産活用委員会 橋水部会研修会			
14	土				
15	日				
16	月				
17	火				
18	水				
19	木				
20	金	春分の日			
21	土				
22	日				
23	月	天皇誕生日			
24	火				
25	水				
26	木				
27	金				
28	土				
29	日				
30	月				
31	火				

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

# TKC北海道

かいこう  
2026.1.1  
第263号



TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1大同生命札幌ビル13階  
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622  
<https://www.tkc.jp/hokkaido>



発行責任者／本間 貴久 編集責任者／坂本 文彦 印刷所／株式会社メディアプラネット



ニューメンバーズフォーラム2025 in 横浜

## CONTENTS

●年頭のごあいさつ	02	●札幌東西支部システム研修会	26
●ニューメンバーズフォーラム		●所長塾 開催報告	28
「TKCニューメンバーズフォーラム2025 in横浜」1日目	04	●原点の会	31
第1分科会	06	●道内金融機関MIS対応状況一覧表	32
第2分科会	07	●早期経営改善計画策定支援NEWS	33
第3分科会	09	●モニタリング情報サービスNEWS	34
第4分科会	10	●令和7年書面添付実践件数	36
懇親会	12	●支部例会・研修会など	38
ニューメンバーズフォーラム2日目	14	●TKC北海道会帯広支部下剋上プロジェクト活動結果!	45
事務所見学会に参加して	15	●積水部会 秋・秋芳洞をめぐる山口の旅	46
●TKC北海道会MIRAIプロジェクト		●リスクマネ委員会報告	51
「月次決算体制構築支援」実践勉強会		●向き不向きより前向きに!やってみよう、企業防衛!	
市川グループ 第1回	16	- 2025年度 下期保険指導強化期間レポート -	53
南グループ 第1回	18	●あの人は今	55
蝦名グループ 第1回	20	●北海道会 会務動向	56
吉田グループ 第1回	21	●お世話になりました 新垣全北海道SCGセンター長と肥田木知夏帯広センター長の送別会写真	57
長田グループ 第1回	22	●編集後記	57
實吉・八幡・坂本合同グループ 第1回	23	●活動予定カレンダー	58
●第3回プラチナメンバーズクラブを開催	24		



# 年頭のごあいさつ

TKC北海道会会長

本間 貴久

新年あけましておめでとうございます。

今年こそ、ワークライフバランスを考えた時間の使い方をしたいと考えています。

## ご協力に感謝いたします

2025年まで続いた、北海道で開催された4大行事、TKC北海道会50周年記念行事(2022年)、全国ゴルフ同好会in北海道、ニューメンバーズフォーラムin北海道(2023年)、そして昨年7月の第52回全国役員大会が過ぎ去りました。

それぞれの行事に挑み続けている時は、その大会が無事に終了することだけを考えていたのですが、終わってしまうとなんだか皆さまと「わいわい・がやがや」やっていた時が楽しかったように思い出されます(決して直ぐに誘致活動をしたいと考えているわけではありません)。

それぞれの大会で、ご協力をしていただいた多くの会員・関係者の皆さんに感謝申し上げます。また、来賓として参加していただいた皆さん、参加はなされなかつたけれど貴重なご意見ご指導をくださった多くの会員にも感謝いたします。

大きな大会に関わらせていただいた感じことは、何かを動かすためには、同じ理念をもった人の協力が必要ということです。運動に参加していただき実際に行動していただける方、経験に基づいて助言をしていただける方、そして活動を理解してそこに参加していただける方、どの方々もTKC北海道



会という組織にとってはとても大切な方々です。今後とも、どのような形でも参加していただきたいと願っております。

## 2026年に一番やりたいこと

2025年までにできなかったことの一つに、「顔の見えなくなった会員」と顔の見える関係になる運動が挙げられます。「以前、ひと昔前、10年前まで」は、顔が見えた会員がここ数年、お会いできなくなっていることを、残念に思っています。せっかくTKCに自らの意思で入会したのですから、その組織の運動に参加してみて欲しいと思っています。

なぜ、顔が見えなくなってしまったのかを考えると、顔を見せにくい組織になってしまっているということでしょうか。支部例会・総会等に参加させていただく機会がありますが、参加するメンバーはいつも同

じ、支部の役員・北海道会の役員が参加しているように見受けられます。

支部長を中心に支部の役員は、参加者を増やす活動を本当に真剣に行ってくれています。支部例会のやり方、例会前の研修会に問題などないと思っています。

「じゃあなぜ?」

「顔の見えなくなった会員は、無関心な会員」「積極的でない会員」「会費だけ払っている会員」なのでしょうか? どんな会員なのでしょうか? どんな会員を想像しますか?

## 会員が集い未来を語れる そして社会から期待される組織

今のTKC組織は会員が参加しにくくなっていることを、多くの会員が感じているのではないでしょうか? 「顔の見えなくなった会員」を生んでしまったのも、参加しにくい組織になってしまったことが原因でしょう。会員にこのように思われる組織になっていることを反省すると共に、今年は、「会員が集い未来を語れるそして社会から期待される組織」を目指していきます。

改めてお伝えする必要はないとは思いますが、TKC全国会・TKC北海道会は、親睦団体でも仲良し団体でもありません。ましてや自らの利益のために存在する組織でもありません。会員の参加を促すためには、懇親やレクも時には必要かもしれませんが、活動で会員が集う組織にしたいと考えています。

TKCは、社会から認められる、社会から組織の存在を無視することができなくなってきた組織です。

税理士の未来を考えた運動は、真剣にかつ楽しく行ってまいります。一人ひとりにお声掛けをして運動に参加していただきますので、会員の皆さん、職員の皆さんには準備体操をお願いしておきます。準備体操の第一は、「月次巡回監査」です。

冒頭で、「今年こそ、ワークライフバランスを考えた時間の使い方をしたい」と記載しましたが、「働いて働いて…」になりそうです。

本年も昨年以上のご協力・ご指導をお願いいたします。

# 「TKCニューメンバーズフォーラム2025 in横浜」 1日目

## 開会式・会長講演

11月13日から14日にかけて、「TKCニューメンバーズフォーラム2025 in 横浜」が開催され、全国から約1,000名、北海道からは20名の参加者が集まりました。

オープニングビデオ上映後、TKC全国会・甲賀伸彦ニューメンバーズサービス委員長による開会宣言が行われ、TKC会計人としての『行動基準書』に基づく巡回監査の意義が強調されました。特に巡回監査における「確認する」と「指導する」の二つの要素、および経営方針の健全性を吟味する重要性が説明され、継続MASの実践が巡回監査の本質的な部分であることが改めて示されました。

続いて、TKC全国会重点運用テーマニューメンバーズサービス委員会による表彰式が行われ、継続MAS実践、自計化推進、書面添付実践、翌月巡回監査率の各項目で優秀な成績を収めた会員が表彰されました。東・東京会の竹添義之会員が



TKC全国会・甲賀伸彦ニューメンバーズサービス委員長

継続MAS実践と書面添付実践の2項目で受賞し、代表あいさつを行いました。

開会式・表彰式を終え、1日目の講演ではTKC全国会・坂本孝司会長より「会計事務所の経営革新～感動を呼ぶ巡回監査～」というテーマで講演がありました。冒頭では、坂本会長が税理士業務の本質と経営革新について言及され、ご自身のTKC入会から45年にわたる経験を振り返り、開業当初の苦労から事務所の成長に至るまでの道のりが語られました。



表彰式の様子



TKC全国会・坂本孝司会長



会場の様子

坂本会長は、税理士業界の課題として、帳簿作成代行に終始する低レベルな業務から脱却し、真の税理士として価値あるサービスを提供する必要性を強調しました。特に「啓蒙が顧客の創造につながる」という考え方を示し、経営者に対し、簿記・会計の価値、税理士の価値、月次巡回監査の価値、TKCシステムの価値を正しく伝えることで、思い込みとのギャップを生み、感動と需要の創出につながると説明されました。

また、税理士の4大業務(税務、会計、保証、経営助言)の中心には「会計帳簿」があり、仕訳の正確性がすべての業務の質を左右することを指摘。

巡回監査の完全実施と記票代行を行わない姿勢の重要性が強調されました。

さらに、税理士は単なる帳簿作成者ではなく、法律家としての側面も持つ専門家であるとし、税法の専門家として立証責任や相当注意義務などの法的概念を理解し、顧客を守る役割を果たす必要性について説明されました。

最後には、政治との関わりについても触れ、TKC議員連盟の体制を紹介しつつ、税理士制度や中小企業法制、税制に関して政治と連携することの重要性を述べ、講演をしめくられました。

(札幌西支部 宮腰 雄太)



TKCニューメンバーズ  
フォーラム2025 in  
横浜

# 第1分科会

## 勇気をもらえた2日間

### — ニューメンバーズフォーラム2025参加記 —

「TKCニューメンバーズフォーラム2025 in 横浜」に参加し、2日間たっぷり刺激を受けて帰ってきました。とくに参加した第1分科会「関与先ゼロからの挑戦」は、本当に参加してよかったと思える内容でした。

登壇されたコーディネーターの中村友悟会員（中部会）、講師の北野良典会員（東京都心会）と山口友和会員（南近畿会）が、普通ならなかなか人に話さないような失敗談や、どうやって事業を広げていったのかという生々しい実体験まで、包み隠さず話してください、「こんなところまで聞けるの！？」と驚く場面も多かったです。

おかげで、自分もしっかりと前に進めるんだと勇気づけられましたし、やるべきこともイメージしやすくなりました。また、同じ立場の参加者の方々と交流できたことも大きな収穫で、「明日からまた頑張ろう」と素直に思いました。

2日間の学びはどれも実践につながるものばかりで、これからの仕事に確実に生かせると強く感じています。会場の雰囲気も明るく前向きで、参加するだけで気持ちが引き上げられるようでした。実り豊かな2日間、本当にありがとうございました。

（札幌西支部 宮 三広）



コーディネーターと講師の3人



コーディネーター  
中村友悟会員（中部会）



講師  
北野良典会員（東京都心会）



講師  
山口友和会員（南近畿会）



第1分科会の様子

# 第2分科会

第2分科会は、「FXクラウドを使いこなせ～月次決算体制の構築と全部監査の効率的実施～」をテーマに、コーディネーターの野呂秀哉会員（神奈川会）、講師に高屋将吾会員（神奈川会）、町田敦会員（神奈川会）で行われました。

巡回監査の本質は、現地（現場）・現物（証拠）・現人（顔の見える関係）の「三現主義」であるが、クラウド化で事前確認が効率化されても、帳簿にない在庫の発見や経営者の意図を見抜くためには、現地での直接対話が不可欠であると、全員が



コーディネーター  
野呂秀哉会員（神奈川会）



講師  
高屋将吾会員（神奈川会）



講師  
町田敦会員（神奈川会）

強調されていました。その中でも、特に経営者に直接会って考え方を確認する「現人」が最も重要であり、「直接会うことで得られる『何かおかしい』というマイナスの情報は、現地でなければ得られない」と主張されていたことが印象的でした。デジタルなシステムと、現地で直接お会いするというアナログな方法が両立して、効率的な全部巡回監査が構築されるということがよく理解できました。

また、業績管理という面から見ても、経営者がリアルタイムで業績データにアクセスできるようになり、月次決算速報サービスなどの視覚的なツールは、数字に不慣れな経営者の理解を助け、非常に強力なコミュニケーションツールだと評価されました。わが事務所でも、FXクラウドを活用し、関与先への経営助言業務を進めたいと改めて感じました。

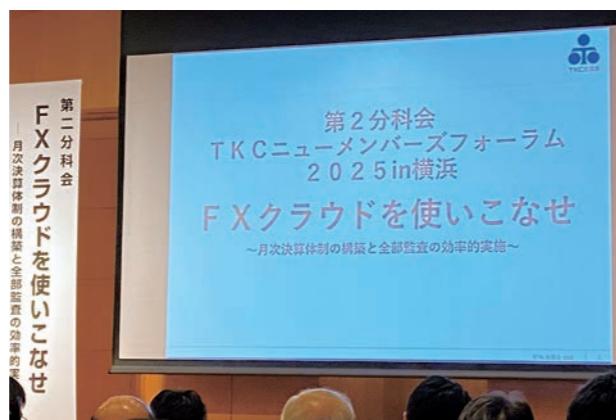
(札幌西支部 竹内 美哉)



第2分科会の様子



コーディネーターと講師の3人



ニューメンバーズフォーラム

## 第3分科会

第3分科会のテーマは「TKCシステムへの移行で未来が変わる」でした。会計事務所とは、帳簿を作ってくれるのが当たり前で、そういうお仕事と思っている顧問先がほとんどの私の事務所で、どのようなTKCシステムに移行していくのだろうか？本当にできるのだろうか？と日々思っていました。中国会の三好健弘会員と関東信越会の川上陽会員のお話は、この問い合わせに明るい道筋を示していただきました。

三好会員は、高付加価値事務所を目指しようとお話しされました。高付加価値事務所になるには、税理士の4大業務である税務、会計では他事務所とは差がつかないので、保証と経営助言によって付加価値をつけましょうということでした。その方法は、自計化をベースに継続MASを標準業務にして、顧問先社長に寄り添うことだと理解しました。



講師 三好健弘会員(中国会)

川上会員は、業務日報作成システム(DRS)と時間管理(TMS)を使用し、どの業務にどのくらいの時間をかけているかを明らかにして、業務の単価計算をするとよいとお話しされました。単価計算をすることにより、顧問先に報酬の値上げ交渉ができるようになるとのことでした。どのくらいコストがかかっているかを意識するとなれば、顧問先への説得力に違いができると思いました。

私たちの仕事を商品化し、価値を顧問先に明示するのは困難であると思い込んでいるのではないか？お二人の会員に共通していたのは、困難であると自分で決めていることは間違いで、顧問先に話してみることを怠っているのではないかとの問題提起でした。

(札幌西支部 小林 加奈)



講師 川上陽会員(関東信越会)



第3分科会の様子

## ニューメンバーズフォーラム

### 第4分科会

第4分科会は、「勇気をもって採用～TKCは職員育成ノウハウの宝箱～」というテーマでした。講師の千葉賀津子会員(TKC関東信越会)、藤井優貴会員(TKC千葉会)の2名による講義の後、テーブルごとにディスカッションを行いました。



講師 千葉賀津子会員(TKC関東信越会)



講師 藤井優貴会員(TKC千葉会)

はじめに、藤井会員の講義では、職員の採用、採用媒体、育成について講義いただきました。経験者や経歴が良い人材を採用しても長続きしなかった経験等から、現在は未経験者のみを採用しているとのことでした。全員が未経験者なので、職員が

お互いに気持ちを分かりあえるというメリットがあるとのことでした。

なお、採用媒体は、ハローワークのみに絞り、求人票を提出するだけでなく、ハローワークの職員と親しくなることで、マッチングできそうな人材がいたら、紹介してもらえる関係性を築いているという点は、参考にしたいと思いました。

また、理念、方針の共有、全体が同じ方向を向いて働いていくという事務所を目指しているという言葉は、非常に心に残りました。

次に、千葉会員の講義では、リモートスタッフを採用しており、TKCシステムを全面活用して、バー

チャルオフィスを利用しているということが印象に残りました。なお、採用時の適性検査の実施や、教育カリキュラムが充実しているようで、昨今の人材不足に耐えうる事務所作りについて考えされました。

最後に、テーブルごとのディスカッションでは、日々の悩みやトークセッションを聞いて解決したこと、明日から実践しようと思ったこと等を話し合い、代表して2つのグループが発表を行いました。

第4分科会を通して学んだことを、今後の職員採用、育成に活かしていきたいと思います。

(小樽支部 鶴間 光)



第4分科会の様子

## 懇親会

分科会の後は、横浜ベイホテル東急にて懇親会が開催されました。地域会ごとにテーブルに集い、立食によるバイキング方式により、横浜の名物ともいえる中華を中心に全国から集まったニューメンバーズ会員に振る舞われました。

地域会ごとに集合するのはこの日は初めてで、懇親会が始まる前から至るところで名刺交換会が始まり、騒々しい中のスタートとなりました。

途中、中国獅子舞の演武があり、会場の盛り上がりは最高潮となりました。

最後に、TKC全国会 坂本孝司会長と株式会社TKC 飯塚真規代表取締役社長との写真撮影会

が始まり、大盛況のうちに懇親会は終了しました。お二人に近づけた興奮のまま、次は二次会会場である世界のビール博物館へと場所を移動し、東北会との合同二次会が開催されました。想定以上に参加者が多く、椅子が足りなくなるというハプニングもありましたが、地域会を跨いでの交流に、ここでも名刺交換が始まり、TKCについての理念など活発に意見が交わされました。その後も翌日朝早くから研修があるにも関わらず、どの地域会も夜遅くまで横浜の夜を堪能しました。

(札幌西支部 國分 敬祐)



懇親会の様子



懇親会の様子



2次会の様子

## ニューメンバーズフォーラム2日目

ニューメンバーズフォーラム2日目は飯塚毅TKC全国会名誉会長のビデオ視聴から始まりました。TKC会員であれば何度も見たことがあるビデオですが、国会で帳簿の証拠価値・権利を毅然と説明される姿は、何度見ても会計処理の原点を思い出させていただき、身の引き締まる思いになります。

続いて、株式会社TKC 飯塚真規代表取締役社長の講演です。

われわれの活動が金融機関にどう届いているのか、関与先に提供する高付加価値についてTKCシステムはどのように対応していくのか、という点についてお話しいただきました。概ね10月に行われた函館秋季大学で講演いただいた内容と同じでしたので、詳しい内容については割愛いたします。(『かいほう』第262号に掲載)

2日目最後は、TKC会員によるパネルディスカッションでした。

コーディネーターは「他人承継」多々良信彦会員(静岡会)、パネリストは「しくじり先生」山中朋文会員(東京都心会)、「3代目」小野晃弘会員(中国会)、「町の税理士事務所」澤口洋輔会員(神

奈川会)です。皆さま個性的な二つ名で紹介を受け、和やかな雰囲気の中パネルディスカッションはスタートしました。

お話しいただいた内容は事務所経営において永遠のテーマである「関与先拡大」と「職員採用」についてです。

関与先拡大については、格安パックを打ち出した失敗談、ホームページや販促グッズを活用した営業戦略、人脈づくりとしての年賀状作戦などをお話しいただきました。

職員採用については、ホームページを活用して事務所の雰囲気等や業務内容、研修支援体制等を細かく載せ、応募数の増加につなげるという取り組みをお話しいただき、私も真似をして取り組みたいと思いました。

最初はなかなか時間が空けられず参加を見送ると思っていたニューメンバーズフォーラムでしたが、やはり参加すると非常に参考になるお話が聞けたとともに、明日から自分も頑張るぞというモチベーションアップにもつながり、非常に有意義なフォーラムでした。

(札幌西支部 川崎 努)



パネルディスカッションの様子

11月12日(水)、「ニューメンバーズフォーラム2025 in 横浜」開催の前日、神奈川県厚木市にあるライトハウス税理士法人を訪問し、猪熊正美会員、黒石陽子会員にセミナー講師を務めていただき、事務所見学会が行われました。

事務所は本厚木駅から徒歩10分ほどの場所にあり、5階建てビルの4階5階がオフィスとなっておりました。

セミナーの中で、ブレない信念を持つこと、方向性を固めること、特に開業から5年が大事で、それは、  
 • 税務調査がない、そのために書面添付をつけること  
 • 経理担当者を育てる、会計事務所に頼らなくとも企業が自立して経理ができる、この結果、月次で試算表が作成できる体制づくり

- 社長を育てる、黒字経営にこだわる社長になっていたいただく、社長としてふさわしい人になってもらうように取り組まれていることが強く印象に残りました。

その他、貸借対照表セミナーを開催した話や決算説明会の際に取り組まれている工夫などをお話しいただきました。

セミナーの後、事務所を見学させていただきました。オフィスは広く明るい印象があり、下の階には資産税専属の部署があったのが大変驚きました。

事務所見学会の後、懇親会が行われ、セミナーで聞けなかったことなどを質問し、とても有意義な事務所見学会となりました。

(札幌西支部 堀内 信吾)



セミナーの様子



事務所見学の様子

## 「月次決算体制構築支援」 実践勉強会 市川グループ 第1回

11月4日(火)、TKC北海道会研修センターにて、17時より市川善明会員のグループによる「月次決算体制構築支援 実践勉強会」の第1回が開催されました。本グループは「北海道の中小企業を元気にしよう」をテーマに、「北海道内の優良企業を増やし、北海道経済の底上げを図る」という理念を掲げて活動しています。

冒頭、市川会員からは、現在の税理士業界の変化と課題についてお話をありました。最近実際に起きた税理士事務所の変更事例を挙げながら、このような環境変化に対応できる会計事務所の必要性を強調され、顧客離れが現実に進んでいることを指摘しました。

勉強会では、『会計事務所の未来設計』のテキストを輪読し、各参加者が事務所での実践内容や課題を共有しました。その後、関与先の黒字化支援

や月次決算速報サービスの実施状況について活発な意見交換が行われました。

市川会員からは、BAST優良企業の6条件(①書面添付実践、②中小会計要領の適用、③限界利益額の2期連続増加、④自己資本比率30%以上、⑤税引き前当期純利益黒字、⑥自計化システム利用)について説明があり、これらを意識した黒字化支援の重要性が強調されました。

次回までの課題として「予算登録」が提示され、参加者には経営計画を真剣に立案し、関与先の黒字化を目指すことが求められました。また、勉強会中には「市川会員が話す時間の割合を予想する」というユーモアあふれるアトラクションも行われ、メンバーの多くが60%以上と予想する中、宮下直樹副リーダーが45%と予想し、実際の結果46%とほぼ一致し、見事ニアピン賞となりました。



勉強会終了後は、「まるごと北海道 花の舞」にて懇親会が開かれました。参加者は本日の学びや感想を語り合い、大いに盛り上りました。

参加者の中には「明日からProFITの『継続MAS予算登録件数公表』に取り組みたい」と意欲的な声も上がり、勉強会を通じて多くの刺激を受けた様子がうかがえました。

次回は来年4月に開催予定であり、参加者の皆さんに今から楽しみにされています。

(札幌西支部 宮腰 雄太)

## 実践勉強会 南グループ 第1回

12月8日(月)、実践勉強会(南優香会員グループ)が大同生命保険株式会社の研修室で開催されました。

冒頭、南リーダー、澤田忠宏副リーダーよりプロジェクトの趣旨が示され、当勉強会は目先の成果ではなく、5年後を見据え今何を取り組むべきかを考えること、また、次世代へ伝えていくことを目的とする全4回の勉強会であることを説明いただきました。

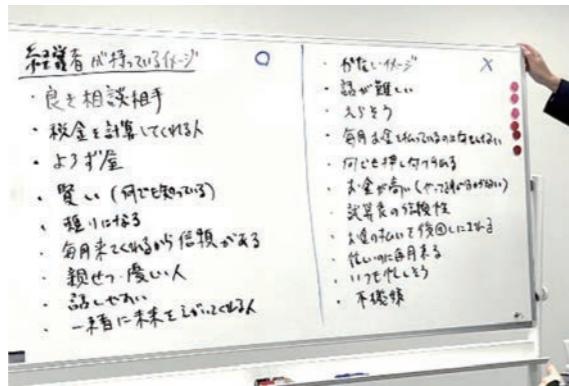
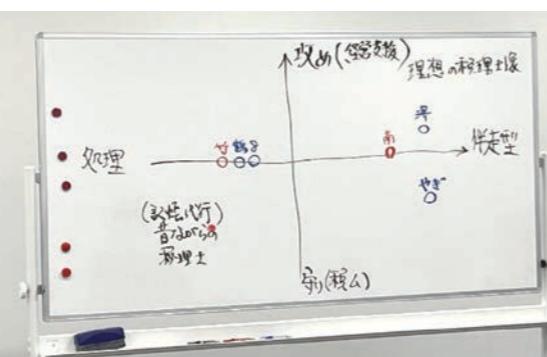
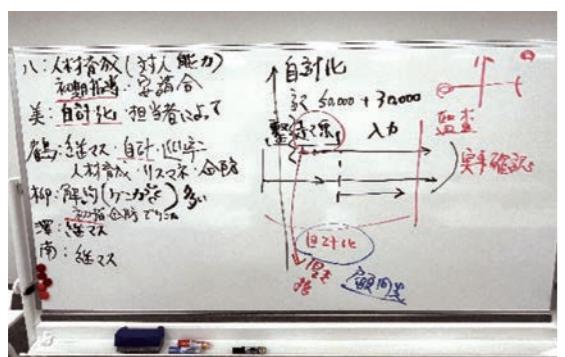
前半は税理士のイメージをポジティブ、ネガティブ要素で意見を出し合い、「5年後どんな税理士でいたいか」を言語化することからスタートしました。理想像を「伴走型支援」に設定し、従来の処理型から経営者と未来を共に考える伴走型事務所への転換を目指すことを目標としています。その上で、現状課題は「自計化推進」、「初期指導の徹底」、「人材育成」、「事務所方針の統一化」等が挙げられました。

後半は、各事務所のKPI(巡回監査率、継続MAS、クラウド導入率など)の設定を行い、LINEグループで情報共有と改善策を検討しました。伴走型事務所を目指す上で土台となるのは「自計化推進」であり、その概念として、証憑の整理(スキャン)から仕訳入力までを関与先で実施する完全自計化の推進を目指すことが強調されました。最終的には税理士が経営者の参謀として未来を共創する体制を目指します。

次回までの宿題は、①KPIメンテナンスと目標設定、②ワークシート記入(5年後の理想像と課題整理)です。

### 【第2回開催】

4月8日(水)16:00~ 於:南優香税理士事務所  
(北海道SCGセンター長 丹野 宏亮)



## 実践勉強会 蝦名グループ 第1回

11月26日(水)、蝦名和広会員がリーダーとなるグループで、9名の会員で勉強会が開催されました。

冒頭、蝦名リーダーからは「せっかくやるならしっかりと形になるように取り組みたい、伝説となる黄金の勉強会にしましょう!」との熱い意気込みからスタートしました。

小中昌幸副リーダーからも、「月次巡回監査を増やしたい、そのためには関与先を増やしたい、そうすると職員を増やしたい、この実現には効率化のためにクラウド推進するといった形で、勉強会が終わるときに結果として数字も運動して上がってることが重要」とのお話もありました。

当グループは、令和8年5月まで、全7回の開催として、各回のカリキュラムと発表者も決められました。毎回、テキストと実践ワークシートをもとに発表することになりました。特に、アウトプットを重視するため、ワークシートをもとに事務所の状況や課題、取り組みを発表いただき、ディスカッションとなります。

(北海道SCGセンター長 丹野 宏亮)



## 実践勉強会 吉田グループ 第1回

11月18日(火)、TKC北海道会研修センターにて、15時半より吉田幸広会員のグループによる「月次決算体制構築支援 実践勉強会」の第1回が開催されました。

当グループは、業務の未来設計という共通テーマに加え、トップリーダーの吉田会員が委員長を務めるシステム委員会の特性も活かし、システムについても情報交換していくグループとなります。

当日は5名の参加会員に対し、吉田リーダーより

テーマを投げかけられ、4大業務に加え、人材確保、所内の合理化、システムサポート料、月次決算速報サービス、クラウド推進などの情報交換がなされました。

次回は4月の開催となりますが、それまでに月次決算速報サービスを推進する目標を確かめ合います。勉強会後の懇親会でも、よりディープな意見交換で盛り上りました。

(北海道SCGセンター長 丹野 宏亮)



## 実践勉強会 長田グループ 第1回

長田栄吾会員がリーダーとなる勉強会が、11月7日(金)に函館で開催されました。

3名の会員が参加しました。こちらは主に函館支部の会員で編成され、全国会の運動方針(第1フェーズ)を確認し合いながら、実務課題として、関与先の経理能力のばらつき、DX化への対応と職員の業務負担、顧問料・決算料の見直しと収益性の確保などが意見交換されました。



最後に、今後の各事務所の目標設定と、取り組むことを確認しています。次回は4月を予定しています。

(北海道SCGセンター長 丹野 宏亮)

## 実践勉強会 實吉・八幡・坂本合同グループ 第1回

11月27日(木)、實吉孝範会員、八幡吉昭会員、坂本健人会員による合同グループで勉強会が開催されました。今回は数名も直前の欠席連絡があり8名(Web1名)の会員が集まり勉強会が開催されています。

冒頭、實吉会員、八幡会員より「大先輩の会員もいらっしゃるのであくまでもわれわれ自身も勉強し、学ぶつもりで運営しますのでどんどん意見交換していきましょう」とあいさつされてスタートしました。

實吉会員、八幡会員より全国会運動方針の再確認、『TKC会計人 業務の未来設計』の第1部

と第2部のポイント解説が行われ、動画「FXクラウドで変わる巡回監査」の事前確認部分を視聴しました。その後にディスカッションが行われ、今回のテーマである報酬体系とクラウドシステムの推進について意見交換をしました。

「有意義な時間で新たな気づきがあった」「記帳代行の脱却を進めていきたい」との感想をいただきました。

全4回の予定で次回は4月6日の週で調整することが決まっています。

(北海道SCGセンター長 丹野 宏亮)



# 第3回プラチナメンバーズクラブを開催

## 事務所の事業承継は喫緊な課題・意見を交わす

プラチナメンバーズクラブの第3回目の会合が、11月28日(金)午後3時から、ホテルモントレーエーデルホフ札幌で開かれた。

プラチナメンバーズクラブとは、元々TKC北海道会に所属する65歳以上の会員を対象にした親睦会的な集まり。今年度から、北海道会の認定集団となり、「プラチナメンバーズクラブ」(以下、略「PMC」)という名称を名乗っている。

対象者の年齢は65歳以上だが、会員歴が30年以上のベテラン会員から、会長や副会長・支部長・委員長等の役職経験者、入会5年未満の新規メンバーズ会員まで、また個人事務所の所長、税理士法人の社員、勤務税理士、あるいは試験合格者、公認会計士、国税OBという経歴や立場など実に多彩である。

今回のPMCは、前2回の懇親会のみの開催から「研修会」と「懇親会」の2部形式で行われ、65歳未満の会員にも参加を呼びかけ、全道各地から総勢30名が参集した。

「研修会」の司会は、PMC幹事の薄井タカ子会員(旭川支部)。本間貴久・北海道会会長のあいさつに続いて、竹川博之会員(帯広支部)が講師となり、「事業承継の光と陰～どうする事業承継?～」をテーマに、会員事務所の事業承継・世代交代に焦点を当て、報告会形式で行われた。

初めに竹川会員は、ご自身が委員となっている、中小企業庁の「中小企業の親族内承継に関する委員会」が昨年8月に取りまとめた「中間報告」を

紹介した後、税理士法人・竹川会計事務所が関与先に対して取り組んでいる事業承継対策の手法に基づき、ご自身の事務所の事業承継対策について詳細かつ具体的な事例を挙げながら現状を報告した。

竹川会計事務所は開業60年で、竹川会員は2代目。副所長に3代目となる竹川靖之会員(帯広支部)が就き、税理士6名・公認会計士3名・弁護士1名・行政書士1名・巡回監査士9名・巡回監査士補20名等の有資格者を含む総勢46名が在職し、札幌市内にも支店事務所を擁す。関与先数は約600件で、黒字割合は68.6%、翌月巡回監査率は85.6%(11月現在)。

職員の平均年齢が42.7歳で、「開業60年によるスタッフの高齢化は、世代交代を進めるに当たり、自利利他の精神の伝承を含めて、課題の一つ」だという。また、働き方改革とコスト上昇により「関与先の1時間当たりの収益の確保は切実な課題となっており、4大業務の同時提供の実施を実現するために、巡回監査の方法や体制、クライアントニーズへの対応など工夫と試行錯誤の連続になっている」とのこと。

さらに、関与先が事業承継を取り組む時期は、ちょうど事務所の事業承継も検討する時期と重なることが多い。関与先も事務所も世代交代に伴い中長期的視点での人材育成や内部体制の刷新を図っていくが、世代の価値観・感覚の相違による「いわゆる世代間のギャップが、時には重くのしかか

り予想外のアクシデントや躓(つまず)きが生じていることを痛感する」。

顧問契約継続の可否検討を含め、世代交代した関与先への啓発・啓蒙を推進するために、「事務所においても、理念や想い、精神や文化をどのように伝えていくのかが最大の課題である」と述べ、最後に「理念なき集団・組織は崩壊する。われわれTKC会員は、変えてはならない理念をどのように維持するのか? 事業承継の“肝”はここにある。やっぱりTKCが原点だ」と締めた。

竹川会員に続いて、金坂和正会員(札幌東支部)、藤田時人会員(札幌東支部)、本間会員(札幌東支部)が、それぞれの事務所の事業承継事例を報告し、特に親子間承継を中心に参加者から意見が交わされた。

「懇親会」は、幹事の木村聰会員(空知支部)の進行で、午後4時45分から始まった。最初に、代表幹事・佐々木忠則会員(札幌東支部)があいさつをし、続いて65歳未満の参加者を代表して田中

裕之会員(札幌西支部)が乾杯の音頭をし、コース料理による歓談となった。

各テーブルで和気あいあいと談笑する傍(かたわ)ら、全参加者が順番に壇上に上がり、研修会の感想やPMCへの想い、自己紹介などをざっくばらんに語った。

PMCの対象者が65歳以上であるため、各自が事務所の事業承継を自身の課題と捉えているよう、登壇者の多くは事務所の事業承継についてスピーチ。親族(親子)間承継・事務所内承継・M&Aによる承継等に承継方法に關することや、親子間等の世代ギャップ、関与先との関係性、健康問題、引退の年齢などで笑いを取りながらも、「TKC会員であることが何よりも有難い。感謝している。PMCに参加してよかったです」との感想を披露していた。

中締めは、幹事の一人・斎藤雅昭会員(札幌東支部)で、最後に集合記念写真を撮影して解散となった。

(広報委員会 岡崎 正毅)



# 札幌東西支部システム研修会

10月17日(金)、TKC北海道会研修センターにて、16時より税理士法人エンカレッジの本間寛人さんを講師に迎え、「FXクラウド自動仕訳機能」活用セミナーが開催されました。

まず、OMSのFXクラウドシリーズのデモ環境を積極的に活用することが推奨されました。デモ環境にはリセットボタンが備わっているため、安心して操作を試すことができる点が強調されました。ただし、連携機能についてはデモ環境では利用できない制限があるとのことです。

クラウド導入のパターンとして、「新規導入」「財務エントリからの移行」「スタンドアロン版からの移行」の3つが紹介されました。それぞれの導入パターンにおける注意点として、新規導入(期首開始)の場合は前期末残高の受信ができないこと、財務エントリからの移行では科目体系が異なるシステム間の不整合が生じること、FX2スタンドアロン版からの移行では移行前チェックの重要性が挙げられました。



研修会の様子



講師の本間寛人さん

特に、クラウドへの移行後は元に戻すことができないため、慎重な対応が必要であると警告されました。

FinTech機能については、銀行口座やクレジットカードとのデータ連携、および仕訳ルール設定の重要性が説明されました。ルールを適切に設定することで自動仕訳の精度が向上し、業務効率化につながると強調されました。カードの用途別分類や口座名の変更など、実践的なアドバイスも提供されました。

POSレジとの連携については、設定手順や連携可能なレジシステム(ユビレジ、AirREGI、スマレジ)が紹介されました。特にAirREGIは小規模から中規模店舗に適しているとのことです。レジデータの取り込みから仕訳計上までの流れについても、具体的に解説がありました。

証憑保存機能については、スマートフォンアプリでの操作方法や、パソコンでのスキャン取り込み方法が説明されました。特に新機能「スマホで経費」については、初期設定に多少の手間がかかるものの、使い始めると従来の証憑保存機能よりも優れているとのことでした。

最後に、クラウド化のメリットとして、チェック機能の自動化、異常値の発見精度向上、電子帳簿保

存法への対応などが挙げられました。将来的にはAIとの連携が進み、確認業務の割合を減らして分析・判断・助言といった付加価値業務により多くの時間を割くことができるようになると展望されています。

質疑応答では、クレジットカードの使い分け、POSレジの商品カテゴリと勘定科目的紐付け、従業員の立替金精算方法などについて活発な意見交換が行われました。

閉会後の懇親会は「地酒と旬の肴 四季の蔵 本店」で開催され、活発な情報交換が行われ、参加者からは、「データの活用方法や仕訳ルール作成のポイント、クレジットカードの使い分けなど大変参考になった」といった感想が多く寄せられました。

(札幌西支部 宮腰 雄太)



懇親会の様子

# 所長塾 開催報告

所長塾とは、「所」と名のつく施設の最高責任者である「所長」と、公的教育の外にある少人数向けの「塾」を組み合わせた造語である(ChatGPT先生ご作成)。税理士事務所の所長は役割が多岐にわたるため、その所長に学びの場を提供しようという趣旨で本企画がスタートしました。

ニューメンバーズ会員の悩みを少しでも払拭し、事務所経営について共に考える全9回シリーズ(参加費無料)として企画され、令和7年2月に会員向けに案内が発出。塾長1名、塾生4名、事務局2名が集まり、塾長は私(岩田)が勝手に自称しました。

◀◀◀参加者 大募集▶▶▶

TKC北海道ニューメンバーズ会員限定



TKC北海道会  
税理士事務所

## 所長塾

### 【企画のポイント】

まず重視したのは「集まりやすさ」。原則として月1回・1時間、少人数のゼミ形式とし、毎回最後に次回日程をその場で決定。テーマは 関与先拡大 → 職員採用 → 事務所管理 と段階的に設定し、基本はWeb開催、途中2回のみリアル開催とすることとしました。

入会年次、事務所規模、年齢がバラバラのメンバーが集まることで、比較可能性が高まり、学びの幅が広がる構成にすることができました。

### 【全9回の概要】

#### 第1回 4月14日

##### 企画趣旨確認、自己紹介、目標等発表

塾生の年齢・開業年次が異なるからこそ、それぞれの立ち位置を共有してもらい、比較のイメージを持つもらいました。

#### 第2回 5月13日

##### 事務所概要発表、SWOT分析

各事務所の特徴や強み・弱みを明らかにし、今後の議論の土台を固めました。

### 【塾長及び塾生名簿】

平成29年入会 岩田 圭史

令和2年入会 瀬戸口 明慶

令和3年入会 岩崎 新

令和4年入会 塩見 明

令和6年入会 宮腰 雄太

### 【事務局】

平成21年入社 松本 州平

平成23年入社 宇佐見 洋亮

#### 第3回 6月19日 関与先拡大1

#### 第4回 7月25日 関与先拡大2

どのような経路で関与先となったのかをリスト化し発表。

「今の自分に合う拡大手法」と「数年後に合う手法」は異なるため、少し先に行く塾生の事例が特に参考になりました。

#### 第5回 8月18日 職員採用1 職員採用手法

#### 第6回 9月22日 職員採用2 職員採用手法

#### 第7回 10月10日 職員採用3 書類選考と面接

昔は売上が伸びる前に人を採用、借金しても人を採用と言われることもあったようですが、最近はそもそも人を採用することが困難な時代。認知度が高く資金力がある事務所は力業を使えば解決できるかもしれません。しかし、開業間もない事務所にはとても真似できません。そのなかでどのような手法で採用するのか、比較検討することとしました。

各塾生が利用した求人媒体の実情やコスト感を比較のうえ、効果的な採用手法について議論し、これからの職員採用の参考になりました。

#### 第8回 11月17日 事務所管理

税理士事務所におけるリスク・事故を

- ・税理士業特有のもの
- ・職員管理に関するもの
- ・一般事業としてのもの

の3つに分類して検討しました。

TKCシステム等で対策できる部分も多いものの、すべてを網羅することは難しく、事務所の規模に応じて試行錯誤している実態が見えてきました。

#### 第9回 12月16日 まとめ(事務所見学会)

所長塾修了式を兼ねて事務所見学会を実施。会場は今年に拡張したばかりの岩田税理士・社労士事務所で、応接2室とミーティングルームを構えるゆとりの空間を見学。

1年の振り返りと反省点、来年の継続開催への期待を語り合いました。

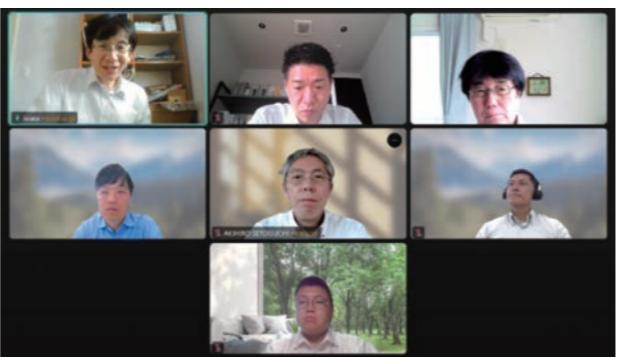
案内上はニューメンバーズサービス委員会主催であるものの、残念ながらまだまだの認知度。今年の所長塾は一から作り上げたこともあり、準備や構想は大変でしたが、これまでの自分の事務所運営を振り返る貴重な時間になりました。学生時代とは異なり、このように少人数で定期的に意見交換できる機会は本当に貴重です。来年以降も、このような企画が続いているといいですね。

※この記事は11月18日に投書したため、12月16日の状況は一部予想を含んで記載しています。

(令和7年所長塾塾長 岩田 圭史)



第2回5月13日関与先拡大1の様子



第3回6月19日関与先拡大2の様子



第4回7月25日リアル開催の様子



第8回11月17日事務所管理の様子



第9回12月16日事務所見学会の様子

## 原点の会

11月27日(木)、原点の会がTKC北海道会センターにて行われました。

高橋宗寛和尚を講師として、TKC基本理念25項目と、会計人の原点を読み進めております。今回は基本理念16と、会計人の原点196項目になります。

16.TKC会計人は、日本の職業会計人の職域防衛と運命打開とを、理想のスローガンではなく、絶対的な現実の実践原理として、位置づけている集団である。

飯塚毅名誉会長の真骨頂は、有言実行。宣言したことは必ず成功させるという厳しい道を選んだ人でした。不言実行も良いですが、失敗したとき誰にも言わなければ無傷で済むという多少卑怯な側面も備えています。

昭和37年9月世界会計人会議に参加していた飯塚名誉会長は、会議中の1日を割き、米国公認会計士協会専務理事のJ.L.ケアリー氏に会談を申し込みます。突然の訪問にもかかわらず、日本をはじめ世界各国の税制や米国が直面している問題について語り合いました。ケアリー氏は飯塚名誉会長の見識の深さに驚き、実際に4時間にもわたる会談になったそうです。

当時米国では、銀行が電算機化を取り入れ税務計算を業務の一環として始めましたが、品質は決して高くありませんでした。そこで、米国公認会計士協会は連邦政府に銀行による税務計算を止めさせるよう法の整備を訴えるも、米国は自由の国だからということで、取り合ってくれず職業会計人の職域が侵されている状況が続いていたそうです。

その流れは必ず日本にもやってくる、そこでどう

するかを考えた飯塚名誉会長は、第一に職業会計人の品質向上として、研修制度を充実させ知識的な研鑽(けんさん)はもちろんのこと、人間的な成長をも図りました。また、会談の際J.L.ケアリー氏に教えられた読むべき200冊の本をすべて読み込んで、世の中の電算機化に立ち向かう方法、職業会計人のための最高のシステムを作らなければならないという結論に至ります。

昭和38年飯塚事件勃発から昭和45年の無罪完全確定までの間も、米国から情報収集を怠りませんでした。高度に鍛錬された電算機システムを己の武器として徹底的に活用してゆく。この方法にしか、日本会計人の活路はないという想いで実践行動し続け、昭和41年株式会社TKCの前身となる株式会社栃木県計算センターを発足させます。

AIが発達し職業の領域が曖昧になりつつある現代、われわれも当時飯塚名誉会長が憂いていた新しい時代にどう立ち向かうのかという命題に直面しているのかもしれません。

会計人の原点201頁では、自分の主人公をつかんで意のままに行動する。というのが人生の目的であり、そのために自性徹見が先だという文章につき考えます。自分とはこういう人間だという思い込みでは、閉塞に向かってしまい運命が切り開かれないということです。そして、固定概念にとらわれない本当の自分こそが物事を正しくとらえることができ、物事を正しく扱うことができ、正しい未来に進むことができるそうです。

職域防衛と、運命打開という講義内容がありました。

次回は4月9日に会員の部、10日に職員の部が開催されます。

(札幌東支部 佐藤 博嗣)

# 道内金融機関MIS対応状況一覧表(11月30日現在)

行	金融機関名	区分	Web BAST 利用	MIS	決算書提供 サービス 申込件数	月次試算表 提供サービス 申込件数	支店数	1支店 あたり 申込件数	貸出件数	貸出件数* に占める MIS割合
1	北海道銀行	地銀	○	○	1,795	246	144	12.5	14,092	12.7%
2	北洋銀行	第二地銀	○	○	3,705	503	171	21.7	28,775	12.9%
3	北海道信用金庫	信用金庫	○	○	1,317	167	81	16.3	10,952	12.0%
4	室蘭信用金庫	信用金庫		○	125	9	26	4.8	2,082	6.0%
5	空知信用金庫	信用金庫	○	○	324	51	21	15.4	3,043	10.6%
6	苫小牧信用金庫	信用金庫	○	○	313	49	27	11.6	2,252	13.9%
7	北門信用金庫	信用金庫	○	○	332	87	23	14.4	2,134	15.6%
8	伊達信用金庫	信用金庫	○	○	48	3	7	6.9	1,010	4.8%
9	北空知信用金庫	信用金庫		○	134	41	14	9.6	907	14.8%
10	日高信用金庫	信用金庫		○	70	10	8	8.8	948	7.4%
11	渡島信用金庫	信用金庫		○	43	8	11	3.9	740	5.8%
12	道南うみ街信用金庫	信用金庫	○	○	109	14	20	5.5	2,235	4.9%
13	旭川信用金庫	信用金庫	○	○	503	92	40	12.6	5,682	8.9%
14	稚内信用金庫	信用金庫	○	○	159	33	24	6.6	1,649	9.6%
15	留萌信用金庫	信用金庫	○	○	252	39	17	14.8	2,114	11.9%
16	北星信用金庫	信用金庫	○	○	202	30	22	9.2	1,531	13.2%
17	帯広信用金庫	信用金庫	○	○	923	82	29	31.8	4,736	19.5%
18	釧路信用金庫	信用金庫	○	○	313	67	18	17.4	1,796	17.4%
19	大地みらい信用金庫	信用金庫		○	128	24	24	5.3	2,065	6.2%
20	北見信用金庫	信用金庫	○	○	318	56	29	11.0	3,702	8.6%
21	網走信用金庫	信用金庫	○	○	164	31	19	8.6	1,626	10.1%
22	遠軽信用金庫	信用金庫		○	119	16	20	6.0	590	20.2%
23	北央信用組合	信用組合	○	○	270	34	26	10.4		
24	札幌中央信用組合	信用組合	○	○	183	33	14	13.1		
25	ウリ信用組合	信用組合								
26	函館商工信用組合	信用組合								
27	空知商工信用組合	信用組合	○	○	0	0	9	0.0		
28	十勝信用組合	信用組合	○	○	0	0	8	0.0		
29	釧路信用組合	信用組合	○	○	165	53	5	33.0		
30	北海道信用保証協会	保証協会	○	○	12	6	10	1.2	20,696	0.1%
31	十勝清水町農業協同組合	その他	○	○	169	9	1	169.0		
32	広尾町農業協同組合	その他								
33	きたそらち農業協同組合	その他	○	○	73	23	1	73.0		
34	東神楽農業協同組合	その他	○	○	3,187	324	1	3,187.0		
35	鹿追町農業協同組合	その他	○							

\*貸出件数は、各金融機関のディスクロージャーより転記しています。

1支店あたりのMIS申込件数は、北海道銀行、北洋銀行、北海道信用保証協会はじめ17金融機関において10件以上、貸出件数に占めるMIS割合は帯広信金はじめ13金融機関が10%以上となっています。MISの圧倒的な実践を行い、その結果、社会への納得を得られるようMISをさらに推進していきましょう！



## 早期経営改善計画策定支援NEWS

令和7年11月28日版

### TKC北海道会 会員各位

平成29年5月29日より早期経営改善計画策定支援が開始されました。当事業は、中小企業や小規模企業が、認定支援機関の支援を受けて、経営改善計画を策定し、金融機関に提出することで自己の経営の見直しと早期の経営改善を促すものです。認定支援機関の使命として、当事業を積極的に実践することで、関与先の業績管理体制を整えていきましょう。

TKC北海道会では、全認定支援機関登録事務所が、当事業を実践することを目指して活動します。その一環として、早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧を定期的に会員事務所へ発信いたします。是非、取り組みを開始しましょう！

TKC北海道会 会長 本間 貴久

## 早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧

[令和7年11月28日現在・順不同・敬称略]

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名	No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川善明理士事務所	市川 善明	31	札幌西	札幌市中央区	南優香税理士事務所	南 優香
2	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎 新	32	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田 めぐみ
3	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治	33	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
4	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史	34	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	吉田 幸広
5	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤 恵一郎	35	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
6	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二	36	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
7	札幌東	札幌市中央区	黒田納規税理士事務所	黒田 納規	37	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
8	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫	38	函館	北斗市	細川拡厚税理士事務所	細川 拡厚
9	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純	39	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
10	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口 和雅	40	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦
11	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	田村 大助	41	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井 夕力子
12	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉	42	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
13	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜	43	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	島田 康弘
14	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬 晃典	44	旭川	旭川市	税理士法人力ム会計	高橋 慎吾
15	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人	45	旭川	稚内市	税理士法人田村会計	田村 栄章
16	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本 康男	46	旭川	旭川市	ふたば税理士法人	西 康子
17	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久	47	旭川	旭川市	税理士法人たいせつ	渡辺 亨
18	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビシャス・パートナーズ	森下 浩	48	北見	網走市	税理士法人才ホーツクネクスト経営会計	南都 正弘
19	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹	49	空知	滝川市	大林強税理士事務所	大林 強
20	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美幹生	50	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤 恵美子
21	札幌東	札幌市中央区	吉田聰税理士事務所	吉田 聰	51	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 健人
22	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太	52	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
23	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広	53	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
24	札幌西	札幌市中央区	税理士法人高橋会計事務所	大館 政男	54	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
25	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也	55	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
26	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸	56	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
27	札幌西	札幌市中央区	アワル税理士法人	鈴木 康弘	57	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
28	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之	58	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
29	札幌西	札幌市中央区	戸井正人税理士事務所	戸井 正人	59	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	坂下 憲一
30	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村 新太郎	60	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介

## 1.TKCモニタリング情報サービス採用金融機関

### ■北海道内金融機関■

1 北海道銀行	7 北空知信用金庫
2 北洋銀行	8 空知信用金庫
3 道南うみ街信用金庫	9 北門信用金庫
4 北海道信用金庫	10 稚内信用金庫
5 苫小牧信用金庫	11 帯広信用金庫
6 旭川信用金庫	12 北見信用金庫

13 渡島信用金庫	19 大地みらい信用金庫	25 遠軽信用金庫
14 網走信用金庫	20 釧路信用組合	26 十勝清水町農業協同組合
15 北星信用金庫	21 北央信用組合	27 伊達信用金庫
16 空知商工信用組合	22 日高信用金庫	28 札幌中央信用組合
17 釧路信用金庫	23 室蘭信用金庫	29 きたそらち農業協同組合
18 十勝信用組合	24 留萌信用金庫	30 東神楽農業協同組合

### ■都市銀行等■

1 三菱UFJ銀行	5 商工組合中央金庫
2 りそな銀行	6 日本政策金融公庫
3 三井住友銀行	7 北海道信用保証協会
4 楽天銀行	8 みずほ銀行

### ■道内に支店がある他県の金融機関■

1 北陸銀行	5 スルガ銀行
2 みちのく銀行	6 七十七銀行
3 秋田銀行	7 青森銀行
4 第四銀行	



## 2.TKCモニタリング情報サービス積極推進事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	あらい税理士事務所	荒井 利幸
2	札幌東	札幌市北区	税理士法人ジャパンタックス申告会	池戸 俊幸
3	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川 善明
4	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎 新
5	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治
6	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史
7	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	上村 剛
8	札幌東	札幌市東区	宇野恵理税理士事務所	宇野 恵理
9	札幌東	札幌市豊平区	大林慎一税理士事務所	大林 慎一
10	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤惠一郎
11	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人金坂会計事務所	金坂 和正
12	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二
13	札幌東	札幌市北区	小島史資税理士事務所	小島 史資
14	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫
15	札幌東	札幌市東区	小林崇税理士事務所	小林 崇
16	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭
17	札幌東	札幌市南区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦
18	札幌東	札幌市北区	税理士法人日本アシスト会計	佐々木忠則
19	札幌東	札幌市北区	税理士法人アカシヤ総合事務所	佐々木俊彦
20	札幌東	札幌市北区	佐々木雅敏税理士事務所	佐々木雅敏
21	札幌東	恵庭市	佐藤孝尚税理士事務所	佐藤 孝尚
22	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明
23	札幌東	札幌市中央区	佐藤博嗣税理士事務所	佐藤 博嗣
24	札幌東	札幌市豊平区	鈴木久欣税理士事務所	鈴木 久欣
25	札幌東	札幌市北区	税理士法人すみよし会計総合事務所	住吉 赴夫
26	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純
27	札幌東	札幌市白石区	税理士瀬戸口明慶事務所	瀬戸口明慶
28	札幌東	札幌市北区	税理士法人しゃらかば総合会計事務所	田中 慎也
29	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口 和雅
30	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	田村 大助
31	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人アグス平岸事務所	千葉 寛樹

No	支部	所在地	事務所名	会員名
32	札幌東	札幌市豊平区	BDO税理士法人 札幌事務所	出口 秀樹
33	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
34	札幌東	札幌市南区	中川一俊税理士事務所	中川 一俊
35	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜
36	札幌東	札幌市東区	名越税務会計事務所	名越 隆雄
37	札幌東	札幌市白石区	西原昇一税理士事務所	西原 昇一
38	札幌東	札幌市北区	税理士法人札幌北会計事務所	能登 康広
39	札幌東	札幌市北区	税理士法人ひづめ会計	樋爪 昌之
40	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬 晃典
41	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人
42	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
43	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	松本 隆臣
44	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
45	札幌東	札幌市東区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
46	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビシャス・パートナーズ	森下 浩
47	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹
48	札幌東	札幌市東区	山口和佳子税理士事務所	山口和佳子
49	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生
50	札幌東	札幌市南区	米澤篤志税理士事務所	米澤 篤志
51	札幌西	札幌市中央区	中央財務税理士法人	安倍 亨
52	札幌西	札幌市中央区	税理士法人さっぽろ経営センターさっぽろ会計	阿部 真澄
53	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太
54	札幌西	札幌市中央区	税理士法人春野会計事務所	石川 由男
55	札幌西	札幌市中央区	板倉圭吾税理士事務所	板倉 圭吾
56	札幌西	札幌市中央区	上原貢税理士事務所	上原 貢
57	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広
58	札幌西	札幌市中央区	岡崎正毅税理士事務所	岡崎 正毅
59	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小堀 裕也
60	札幌西	札幌市中央区	川崎税理士事務所	川崎 努
61	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸
62	札幌西	札幌市中央区	齋藤豊税理士事務所	齋藤 豊

No	支部	所在地	事務所名	会員名
63	札幌西	札幌市手稻区	佐藤寿志税理士事務所	佐藤 寿志
64	札幌西	札幌市中央区	鈴江誠税理士事務所	鈴江 誠
65	札幌西	札幌市西区	竹内美哉税理士事務所	竹内 美哉
66	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
67	札幌西	札幌市中央区	外館英樹税理士事務所	外館 英樹
68	札幌西	札幌市中央区	中川雄介税理士事務所	中川 雄介
69	札幌西	札幌市西区	税理士法人共栄会計	長田 幸雄
70	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
71	札幌西	札幌市中央区	税理士法人川井会計	中村 宗睦
72	札幌西	札幌市中央区	橋本佐智子税理士事務所	橋本佐智子
73	札幌西	札幌市中央区	はちもり会計事務所	八森 恵一
74	札幌西	札幌市中央区	林田敬二税理士事務所	林田 敬二
75	札幌西	札幌市中央区	平田清悦税理士事務所	平田 清悦
76	札幌西	札幌市中央区	堀内信吾税理士事務所	堀内 信吾
77	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計堀内	堀内鶴次郎
78	札幌西	札幌市中央区	スズカ税理士法人	松本 剛明
79	札幌西	札幌市西区	三上税務会計事務所	三上 香織
80	札幌西	札幌市中央区	南優香税理士事務所	南 優香

No	支部	所在地	事務所名	会員名
81	札幌西	札幌市中央区	宮腰雄太税理士事務所	宮腰 雄太
82	札幌西	札幌市中央区	森下税務会計事務所	森下 敏美
83	札幌西	札幌市中央区	柳橋税務会計事務所	柳橋 琢磨
84	札幌西	札幌		

## 令和7年 書面添付実践件数(令和7年11月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和6年 合計	令和7年実績											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
1	札幌東支部	市川 善明	53	1	7	7	5	10	2	3	3	4	4	3	49
2		岩崎 新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3		岩田 圭史	57	1	10	19	6	18	2	7	3	8	9	7	90
4		大林 慎一	5	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	2	5
5		加藤恵一郎	209	4	35	32	23	37	14	8	13	13	9	18	206
6		金子 雅行	8	0	1	1	0	1	1	1	0	2	1	0	8
7		金坂 和正	13	0	2	2	0	1	1	1	3	0	0	1	11
8		川股 修二	170	10	14	8	22	19	15	16	16	12	14	16	162
9		小平 康夫	45	0	4	4	4	8	3	3	5	3	3	4	41
10		斎藤 雅昭	11	0	1	0	0	5	2	0	1	0	0	1	10
11		坂本 文彦	11	0	3	0	0	6	0	0	1	1	0	0	11
12		佐々木忠則	218	7	23	43	16	39	20	19	20	8	13	17	225
13		佐々木俊彦	13	1	2	1	2	1	0	2	2	1	1	1	14
14		佐々木幸徳	32	0	2	1	5	5	0	3	1	2	3	1	23
15		佐藤 俊一	13	0	3	1	0	2	0	1	2	1	0	1	11
16		佐藤 孝尚	18	2	2	2	1	4	2	0	1	0	3	2	19
17		下坂 登	7	0	6	0	1	0	0	0	1	1	0	0	9
18		清宮 純	84	1	8	6	6	17	6	5	6	4	9	8	76
19		高野 真人	8	0	0	0	0	2	1	2	2	0	0	0	7
20		田中 慎也	4	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	4
21		谷口 和雅	28	1	3	3	0	8	2	3	5	0	1	1	27
22		田村 大助	62	0	8	9	3	14	4	4	6	0	5	1	54
23		千葉 寛樹	78	3	15	6	4	18	3	2	5	6	2	5	69
24		出口 秀樹	65	2	5	3	5	21	2	5	4	3	3	6	59
25		寺田 勉	84	1	6	21	7	14	7	3	2	11	3	11	86
26		中川 一俊	54	0	9	2	9	9	0	1	2	0	1	4	37
27		中川 信喜	59	3	6	10	4	10	6	5	3	3	3	7	60
28		名越 隆雄	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
29		鳴海 敏郎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
30		西野尾嘉拓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31		能登 康広	8	0	1	0	2	0	2	0	1	1	2	0	9
32		廣瀬 晃典	28	0	5	1	1	5	4	2	4	2	2	2	28
33		藤田 時人	51	4	4	3	7	6	6	4	6	3	2	1	46
34		藤谷 満雄	15	0	3	0	1	2	2	0	2	1	1	2	14
35		藤本 康男	4	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	4
36		本間 崇	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
37		本間 貴久	147	1	24	17	16	34	5	8	9	12	9	13	148
38		松本 隆臣	66	2	8	8	2	11	7	1	7	2	5	6	59
39		丸山 昭一	30	2	5	0	4	3	1	3	1	1	3	4	27
40		宮下 直樹	271	12	50	53	18	35	8	18	19	15	17	39	284

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和6年 合計	令和7年実績											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
41	札幌東支部	宮本 信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42		森下 浩	20	0	4	5	2	1	0	2	0	1	0	4	19
43		山美 幹生	53	4	7	3	7	17	2	3	5	4	4	3	59
44		横山 知明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45		吉田 淳	12	0	1	0	1	7	1	2	0	0	0	0	12
46		米澤 篤志	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47		阿部 真澄	44	0	1	0	1	8	4	2	3	6	7	4	36
48		池脇 竜太	89	1	7	9	8	13	11	5	4	10	9	4	81
49		石川 透	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2
50		石川 由男	41	0	12	1	2	7	3	2	4	3	2	4	40
51		伊東 幹世	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
52		上原 貢	11	0	1	2	2	1	1	0	2	0	0	1	10
53		大沼 宏	6	0	0	0	1	5	0	0	1	0	0	0	7
54		岡崎 克明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55		岡崎 正毅	11	0	0	5	2	1	0	1	1	0	0	2	12
56		小川 裕也	12	1	1	1	1	3	0	1	0	0	0	1	9
57		川端 忠範	11	0	1	0	1	3	2	0	0	1	3	1	12
58		國分 敬祐													



# 支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO HIGASHI, ASAHIKAWA, TOMAKOMAI



## 札幌東支部ボウリングレク 『俺の祈りは届いているか!!杯』

11月6日(木)、ノルベサ6階 GiGO BOWLにて札幌東支部のボウリングレクリエーションが会員19名、提携協定企業13名、合計32名の参加により、開催されました。

当日は11レーンを使用し、レーンごとに3名1チーム(人数の都合により1チームのみ2名)で編成し、女子は1ゲームにつき一律60のハンデを付与して、2ゲームの団体戦および個人戦を実施しました。

始球式は、本日のレクの名称に冠が付いた本間貴久会長が担当されました。「俺の祈りは届いているか!!」という思いを込めて放った第一投はストライクとはなりませんでしたが、無事にレクリエーションがスタートしました。

ゲームが始まると、各レーンではハイタッチや歓声が飛び交い、交流を深めながらもプライドと景品をかけた熱い戦いが繰り広げられました。参加者の中にはこの日のために練習してきた方や、学生以来という方もおり、私自身も約26年ぶりのボウリングでガーターを連発。腕はパンパンになり、親指も痛むなどスコアも体力もボロボロになりましたが、非常に楽しくプレーすることができました。

プレー終了後は、同じノルベサ地下1階の居酒屋にて懇親会が開催されました。座席はくじ引きによる完全ランダム制とし、普段とは異なる方と隣り合うことで交流がより一層深まったのではないでしょうか。

懇親会の冒頭では司会の堀内信吾会員が、

本間会長のオンデマンド理念研修の期限が切れており視聴できない状態となっていて、復刻するとの承認を本間会長に求めたところ、承認が得られました。復刻された際はTKC北海道会会員の皆で再視聴をし、血縁的集団としてさらなる結束を図り奮起いたしましょう!(目指せ2,000超再生、北海道会会員456名なので一人5回以上視聴してください)

歓談の後、ボウリングの成績発表が行われました。団体戦第1位は「瀬戸口明慶会員、高橋弘美さん(大同生命保険株式会社)、松本州平さま(株式会社TKC)」チーム、個人戦第1位は高橋弘美さん(大同生命)でした。私はブービー賞をいただきました。このほか、ハンデなしの最高スコアを記録した岩田圭史会員へのベストグロス賞など特別賞の表彰もあり、各委員長が協賛した賞品には所属委員会にちなんだユーモアある内容(例:広報委員会「『かいほう』に3回記事を書く権利」など)が添えられ、大いに盛り上がる表彰式となりました。

普段の研修や役員会、例会とは異なる雰囲気の中、体を動かしながら皆さんと交流を深められたことは非常に有意義でした。来年以降もぜひ参加し、来年こそはスコア100超えを目指したいと思います。

なお、レク運営委員として、当日のしおりは私が話題のオンラインビジュアルツール「Canva」で制作しました。ご感想があればぜひお寄せください

(札幌東支部 荒井 翔介)

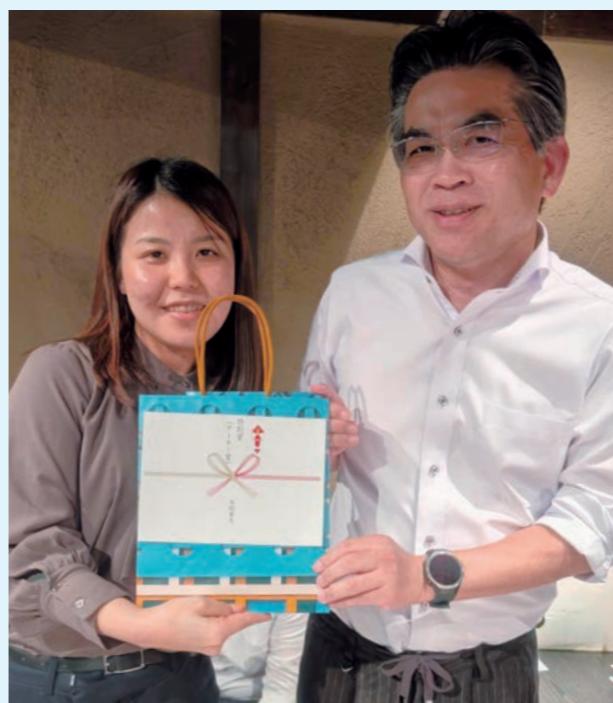
ボウリング成績発表 表彰の様子



団体戦1位!



個人戦3位!



特別賞(ターキー賞)!



個人戦20位!



# 支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO HIGASHI, ASAHIKAWA, TOMAKOMAI



## 支部例会

11月7日(金)午後4時より、TKC旭川サービスセンターにおいて、会員12名の出席で支部例会を開催しました。

開催前には、午後2時45分から事務所経営塾を行い、日本政策金融公庫旭川支店・井上智裕国民生活事業統轄より「TKCファストリンク」の概要、北海道信用保証協会旭川支店・昔農恵英支店長より「保証協会からの最新情報」の説明をいただきました。

支部例会は、多田陽平総務委員長の司会で始まり、實吉孝範支部長のあいさつでは、支部のDX化についての説明がありました。

TKC北海道会報告では、TKC北海道会菅野浩副会長より、国税局・税務署訪問、北海道会強化プロジェクト企画、研修会の予定、秋季大学の開催予定、北海道会各委員会活動について説明があり、TKC北海道会理事会報告では實吉支部長より、旭川支部では税務署訪問は済んでい

ること、ダイレクト納付の促進、添付書類についても全てe-Taxで行うこと、秋季大学の旭川開催について説明がありました。

各委員会報告では、総務委員会からバッジ会員の増強、企業防衛制度推進委員会から下期強化期間の取り組みと次の会主催の忘年会について、中小企業支援委員会から稚内信用金庫とのトップ対談について、ニューメンバーズサービス委員会から会員増強とニューメンバーズフォーラムについてなどが報告されました。

その後、提携・協定企業からの報告があり、次回の支部例会を令和8年2月6日(金)に開催すること、同日の事務所経営塾では稚内信用金庫との交流会を行うことを確認し、支部例会を終了しました。

支部例会終了後は会場を移して、信用保証協会の昔農支店長にも出席いただき懇親会を開催しました。

(旭川支部 舟橋 馨)



## 第46回 合合同忘年会 開催報告

12月5日(金)、アートホテル旭川にて「第46回TKC旭川支部合合同忘年会」を開催いたしました。当日は、来賓10名、旭川支部会員・職員74名、計84名に参加いただきました。

開会にあたり主催者あいさつを行った後、旭川支部・實吉支部長よりあいさつをいただきました。その後、大同生命保険株式会社 北海道TKC企業保険支社 副支社長 田辺健さまのご発声で乾杯し、忘年会がスタートしました。

余興では、イントロ○×ゲーム、二人一組でティッシュ箱を積み上げるゲームの2種目を実施しました。進行は、朝日税理士法人・堂佛準さま、税理士法人カムイ会計・今野英樹さまに担当いただき、会場は大いに盛り上がりました。



第1ステージのイントロ○×ゲームでは、曲名の由来や関連クイズが出題され、適度な難易度で楽しんでいただけました。続く第2ステージでは、正解数の多い方12名を選抜し二人一組になってもらいティッシュ積みゲームに挑戦しました。白熱した展開となり、誰が優勝してもおかしくありませんでした。1位は「カタログギフト」、2位は「ハムセット」、3位は「商品券」を贈呈しました。

続いて行われた恒例のbingoゲームでは、豪華景品をご用意しました。

- 1等: ダイソン ファンヒーター
- 2等: 日本三大ブランド和牛セット
- 3等: かに三昧セット





# 支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO HIGASHI, ASAHIKAWA, TOMAKOMAI



1等は税理士法人薄井会計の新保功司さまが当選され、昨年も豪華景品を薄井会計の職員が当選しており薄井会計としては2年連続の当選となりました。

また、大同生命賞の贈呈では、大同生命保険野原潤一道北推進課長に進行をお願いし、今年も豪華景品を提供いただきました。毎年のご協力に心より感謝申し上げます。

ビンゴ終了後は、未当選の2名によるじゃんけんで特別賞をお渡しし、最後は旭川支部・舟橋馨副支部長のあいさつで中締めとなりました。

短い時間ではありましたが、終始笑顔があふれる会となり、来年への活力となる有意義なひとときとなりました。参加いただきました皆さんに、厚く御礼申し上げます。

(旭川支部友の会代表幹事 市村 祐弥)



## 支部例会・研修会

11月5日(水)、室蘭市FKホールディングス生涯学習センターきらんにて苦小牧支部例会を開催いたしました。

出席者は会員6名のほか、TKC北海道会からは澤田忠宏副会長、駒井桂伺副会長、提携・協定企業、TKC北海道センターの方々が出席しました。

例会に先立ち研修会が開催され、TKC北海道会苦小牧支部副支部長の小林史郎会員の司会の下、「事務所経営を考えよう」というテーマで、開催されました。

テーマは、柴山太一支部長があらかじめくじ引きスタイルで、事務所経営に関連したものを、10個作成してくれました。さてスタートです。

まず最初は、取引相場のない株式の評価についてでした。ほとんどの会員の事務所が標準の業務であるとのことで、中には法人の決算料に含んでいる会員事務所もありました。別途の業務として行っている会員事務所の悩みが料金についてで、

ほとんどの会員が最低報酬金額は、ほとんどは10万円という会員が多かったです。

その次には、防災対策についてでした。防災対策については、苦小牧の会員事務所が多いことから、7月30日にカムチャッカ半島付近で発生したM8.7の巨大地震の時の避難についての話題になりました。苦小牧市からの指示により、ほとんどの会員事務所が避難をしていました。われわれ会員の防災対策については、防災グッズを購入することくらいの備えしかなく、上場企業である株式会社TKCのSCGセンター長で就任したばかりの丹野宏亮センター長の意見および同生命の支社長であります下村利文さまの意見の方が参考になりました。

3つ目のお題は、在宅勤務についてでした。これについては、介護する家族がいるので、特別に認めているという例外を除き、現状ではほとんどの会員が認めていないということでした。

研修会の後半になり、求人についての話になり、





# 支部例会・研修会だより

FROM SAPPORO HIGASHI, ASAHIKAWA, TOMAKOMAI

媒体をどのようにしているかというお題でした。ハロー、Indeed、シゴトガイド等の媒体を利用して会員が多かったのですが、私が印象に残ったのは、湯谷和彦前支部長のホームページに休日および仕事の雰囲気を提示して、気楽に勤務できることをアピールすることが大事であるとお聞きしました。あとは、税理士補助で募集しないで経理担当を募集しているということを提示したほうが応募が増えるとのことでした。

最後には、AIの利用方法について、ビジネスフォンのことなど皆さまのお悩みは尽きず、活発な意見が多数出て、あつという間に時間が過ぎてしまい、最初の研修予定時間の1時間を超過して研修は終了しました。

研修終了後に支部例会が開催され、柴山支部長

あいさつの後、澤田副会長より「TKC北海道会からの報告」、駒井副会長より「企業防衛推進委員会の報告」、湯谷中小企業支援委員会委員長より「継続MASの予算登録数を増やす」「TKCファストリンクの推進」がありました。その後、各委員会からの報告があり、株式会社TKC、大同生命保険株式会社、大和ハウス工業株式会社、積水ハウス株式会社からそれぞれお知らせがあり、例会は締めくられました。

終了後、室蘭市中島町の「居酒屋まんまるはなれ」で懇親会が開催されました。

次回は、最近、多数のリクエストがありますが、行けていないシローちゃんが他支部の例会に行ってみたを、記事にしたいと思います。また、温かく見守ってくれることをお願いいたします。

(苫小牧支部 小林 史郎)



**TKC北海道会帯広支部  
下剋上プロジェクト 活動結果！**

【証憑保存機能利用社・銀行信販データ受信機能割合】

令和7年6月30日時点

		実績	利用率	支部順位
1	銀行信販データ受信機能	583	24.7%	52/127
	令和6年6月時点	444	19.3%	87/127
2	証憑保存機能 (関与先での利用)	664	28.2%	1/127
	令和6年6月時点	203	8.8%	125/127

～中井支部長より～

最下位からスタートしたDX下剋上プロジェクト。証憑保存機能の利用で全国7位となりました。

目標としていた日本一には届きませんでしたが、トップ10入りすることで、帯広支部の力を全国に示すことが出来たと思います。ご協力いただきました、各事務所の先生方、職員の皆様、本当にありがとうございました。



TKC北海道会帯広支部

過去の『かいほう』が読めます。(214~262号)

「TKC北海道会」と検索するか、表紙または右のQRコードからアクセスしてください。  
(広報委員会)



# 積水部会 萩・秋芳洞をめぐる山口の旅

10月25日(土)から27日(月)までの日程で積水部会としての旅は8年ぶり、今回は積水ハウスの工場がある、山口県萩と下関、山口工場をめぐる旅となりました。

## 1日目 10月25日 曇りのち小雨

9時10分発のJAL便で出発、羽田空港乗り継ぎ待ちの間お弁当が配られます。14時30分宇部空港に到着。残念ながら天気は曇り、今にも降り出しきそうです。前々日から福岡出張の山谷謙太会員がプラカードを持ってガイドさんと共に出迎えてくれました。



お迎え山谷会員

まずは観光、バスに乗り込んで秋芳洞へ向かいます。山口県は人口129万人、宇部の辺りが周防国、萩や下関辺りを長門国と言い、山口県は2つの国が入っている防長の国と呼ばれています。

15時30分秋芳洞到着。秋吉洞という漢字だったそうですが、「秋が芳しいですね」と昭和天皇(当時は、皇太子)がお話になられたので秋芳洞となつたそうです。

上から垂れる鍾乳石が2センチ伸びるのに250年、下から伸びる石筍が2センチ伸びるのに500年。上と下がつながりやがて石柱になります。天井の高さが高い所で35メートルにもなり大迫力でした。

お土産として売っていた10センチ程ある2500年ものの鍾乳石の板がなんと100円と激安。来たるべき鍾乳石ブームに備えて買い占めようかと思いましたが、荷物が大変なことになるのでやめておきました。



秋芳洞

萩市内に向かう道中では、カルスト台地と言って石灰岩が所々に転がっており、ドリーネという凹んだ地形が所々にありました。その他にも全国的に珍しい黄色いガードレール、山陰の田舎の方は赤い瓦屋根が多く鰐を乗せているのは魔除けであること。ユニクロは山口発祥だとか、うどんチェーン店の「どんどん」は注文をして席に着いた瞬間にうどんが運ばれてくる等いろいろな話を聞いているうちに18時30分ホテルに到着しました。

夜の食事は「萩心海」というお店で鮑の焼き物、フグのひれ酒を堪能しました。そこで、25日生まれの私の誕生日のサプライズケーキを用意していました。なんで誕生日に参加してくるんだ、とか、家庭は大丈夫なのかと心配されましたが、恐らく家

庭は円満なのではないかと自認しておりますので心配ご無用です。

食事も終わり一旦解散。有志で萩の飲み屋街を目指して歩くも、街灯も薄暗くなかなかイメージ通りの飲み屋街になりません。ちらほらとスナックの看板が見えてきた辺りが飲み屋街だそうで、手当たり次第お店のドアをあけて無事2次会会場を見つけることができました。1時間ほど飲んだ後、ラーメンで締めました。締め切らなかつた面々は3次会へと向かったそうな。

## 2日目 10月26日 曇りのち雨

まずは、松陰神社を見学。吉田松陰先生は多くの本を読み、弟子達に日本や世界の歴史について教えていたそうです。多くの明治維新の英傑を生み出し、近代国家に向けての原動力になった場所であります。寺田勉会員は「未見の我を発見せよ」と言う松陰先生の言葉に感化され今回の旅に参加したそうです。松下村塾や松陰先生が蟄居(ちつきよ)していた実家も観ることができました。

次は、松陰神社のすぐそばの村田蒲鉾店に向かいます。滞在時間10分程にもかかわらず宮下直樹会員が大量に蒲鉾を購入。ポテンシャルの違いを見せつけます。突然の上客にお店の方もバスが見えなくなるまで手を振ってお見送りいただいたと思います。

江戸屋横丁では、国指定重要文化財である萩藩の御用商人であった菊屋家の住宅や、高杉晋作や木戸孝允等、幕末の志士達の生誕の地を観て回りました。萩は、移動距離数分で名所を回れるコンパクトシティとなっておりました。午前中で萩の観光を終えて下関に向かいます。

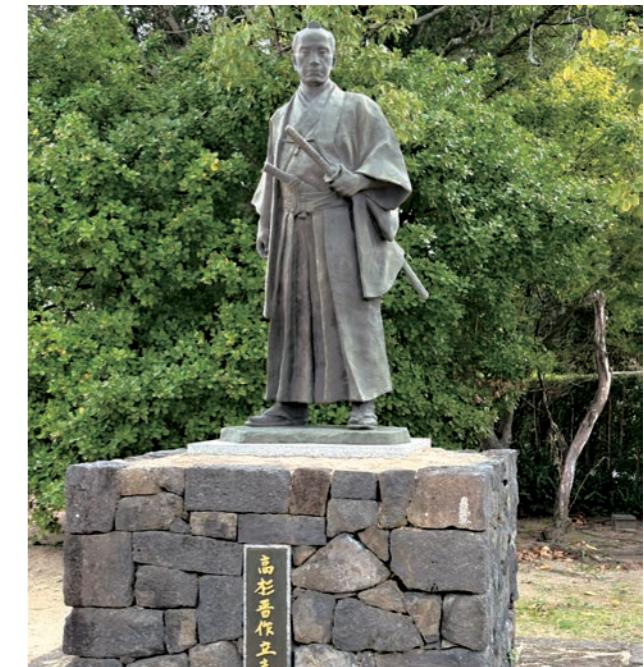
昼は、海鮮村北長門で海鮮丼とイカの刺身を食べました。イカが甘くておいしかったです。真面目な研修旅行なので、ここではまだお酒は解禁されません。



松陰神社(文字は松陰先生の直筆だそう)



松下村塾



高杉晋作立志像

元乃隅神社では、連なる鳥居と断崖に建てられた神社、海の景色が絶景です。鳥居にロープが張られて神社に参拝できないのはオーバーツーリズム対策とのこと。世知辛い世の中です。

角島灯台は全国でも珍しい登れる灯台として105段の階段です。「ここまで半分」「残り20段」の張り紙を励みになんとか登り切り360度のパノラマの景色を見る事ができました。

下関に向かいます。さて、「特牛」と書いてなんと読むでしょう。正解は「こつい」いきなり難読地名クイズでした。特牛を過ぎてしばらく進み、下関に到着。



元乃隅神社



角島灯台

次なる観光ポイントは、下関の街を一望できるという火の山公園。山の中腹までバスで進みますが、まさかの工事通行止めになっており、切り返しもできず急カーブもある山道をバックで引き返すことに。全員が固唾を飲みながら運転を見守っていたところ、工事関係者の方が来て通行止めを開けてくれ、少し上がったところの待避所でバスを切り返し、無事下山し一同安堵のため息。旅は今日一番の盛り上がりを見せました。山を下りる際、登り口にはしっかりと通行止めの看板があることも確認。登れるものだと思い込んでいると目に入らないという教訓になりました。



火の山パークウェイ通行止め

火の山公園に行けなかった代わりに、みもすそ川公園を見学。ここは源平の合戦の終着点である壇ノ浦の戦い、幕末明治維新の起点となった場所であります。文久3年(1863年)長州藩と英、仏、蘭、米との間に起きた武力衝突では、火の山公園から航行する外国艦隊に向けて放たれた長州砲が届かない。逆に外国艦隊から放たれた砲によって長州砲は破壊され、今の日本の技術ではとても敵わないと思い知られ、討幕運動へと進んだそうです。こちらはこちらで、勉強になり大変良かったです。



みもすそ川公園

夜の食事は「春帆樓」。伊藤博文公がここで太閤豊臣秀吉の時代から食べることを禁じていたふぐを食べて、そのおいしさに感動、ふぐ料理が下関限定ではありますが解禁になりました。ふぐ料理のフルコースと、26日が誕生日である柳川会員へのサプライズケーキ。南会員チルドレンがケーキを運んで2夜連続のお祝いをしました。参加者一人ひとりから旅の感想を語ってもらい盛り上りました。



柳川会員親子



旅の感想を述べる南会員チルドレン

その後は、また有志で夜の街に繰り出しカラオケを楽しみました。黒田納規会員が、大学生の息子と2人で参加をした柳川英樹会員親子に捧げた奥田民生の「息子」という曲が心に沁みました。父と息子が一緒に旅をする姿は良いものだと2人を見て改めて感じることができました。まぜそばとレモンサワーで締め、ホテルに戻り就寝しました。



カラオケを楽しむ有志

### 3日目 10月27日 晴れ



赤間神宮水天門

8時30分ホテル出発、「春帆樓」のすぐ隣り、耳なし芳一堂がある赤間神宮水天門の前で記念撮影をした後、9時50分に積水ハウス株式会社山口工場到着、いよいよ今回の旅のメイン行事です。

山口工場の概略を説明しますと、山口工場ができて52年だそうで、7万坪の敷地に社員や協力企業含め500名程が働いているそうです。

ヘルメットとインカムをつけて見学。見学の様子は撮影禁止なので文章だけになります。



積水工場見学会

まず、見学したのが資源循環センターです。廃材をゴミと言わず資源と呼び、埋め立てない、焼却しないことをゼロエミッションとして定義。広域認定制度で、他県からも資源を集めているとのことです。建設現場で職方さんが27種に分別して、さらに循環センターで60種に分別し、屋根、ウッドデッキの部材や養生シートなどに加工されて再利用。かさばる発泡スチロールも固めて延べ棒状にすると輸送が効率的に、CO<sub>2</sub>の削減にもつながります。

次に、鉄骨工場です。ここは鉄骨の部材を加工する場所になります。安全のため作動中の機械に人が近づくと、センサーが作動し自動的に止まる仕組みになっています。積水ハウスの社員さんが安全装置を作動させてしまうというまさかの展開になり、案内をしてくれた方の「機械に近づいたらダメ～」の絶叫がインカム越しに響いてまいりました。安全管理体制のリアルを実践いただきました。

次に、地震や耐火性に対する建物の安全性を確認する施設である安震館(あんしんかん)を見学。積水ハウスの住宅はデザイン性はもとより、地震でも倒れない、火にも強いということで、地震体験として震度7の揺れを四人掛けのテーブルに座り体感しました。耐火性の確認では、目の前に出現したゴジラ似の怪獣が建物の壁に火を吐き続け、外壁の温度は900度近くまで上昇、それでも内壁は21度のまま。隣の家からの類焼にも耐えられることが証明されました。カーテン越しに火を吐く怪獣の姿がとてもシユールでした。

モデルルーム見学前に一旦休憩、お金を入れなくて出てくる夢の自販機で飲み物を選び乾いた喉を潤します。

主に見たのが、ため息が出るほど住み心地の良さそうな平屋。デザイナーのこだわりが随所に感じられます。照明の光は抑えめですが自然光を取り入れて優しい光が差し込む空間、部屋の中の壁の高さも工夫されており、部屋全体の広がりを感じることができます。家族構成の変化にも対応でき住むほどに愛着が湧く設計となっております。

最新の技術を取り入れた積水ハウスの建物は、クライアントにも安心して勧めることのできる建物になりますので、皆さんも機会があればモデルルームの見学会に参加していただき、まずはご自身の家として試しに一度建ててみてはいかがでしょうか。これにて、積水ハウス山口工場での有意義な研修が幕を閉じました。

この旅最後の食事会場は、明治中期の由緒ある木造建物を移転復元して作られた、「かめうら苑」。アサリの酒蒸し料理と刺身をいただきました。これにて旅の全行程が終了。あとは飛行機を乗り継いで札幌に帰ります。旅の一歩が羽田に着いた時間にトランプ大統領も羽田に着いたそうで、心なし

か空港内がバタバタしていた気がします。



「かめうら苑」のアサリの酒蒸し

以上報告でした。旅の幹事をしていただいた積水ハウス株式会社佐藤公哉さんと、飯野由和さんは大変感謝いたします。積水部会の小中昌幸会長、次回の旅も楽しみにしております。

(札幌東支部 佐藤 博嗣)

## リスマネ委員会報告

「TKC北海道会の皆さまいかがおすごしでしょうか。最近リスマネより自分のリスクが心配な委員長の岩田圭史です」

皆さまご承知のとおり、近年、複数回にわたり発出された大手損害保険会社に対する行政処分等により、リスマネ委員会の活動も大きな制限を受けることとなりました。

さて、令和7年11月5日、リスマネ委員会の開催に合わせて、一般会員もオブザーバー参加可能な「東京海上部会」「あいおい部会」「損保ジャパン部会」(情報交換会)およびミニセミナー「よくわかるリスクマネジメント指導実務」テキスト読み合わせ会を企画させていただきました。

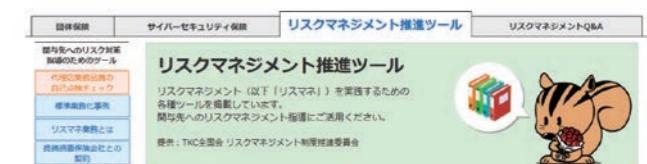
もともとは提携損保が同席の上でリスマネ委員会を開催しておりましたが、諸般の事情により、他損保会社が同席する形式での会合開催に制限があり、今回は別室・時間差開催という方法を取りました。部会ごとに分けての開催となったため、1回あたりの参加人数は少なくなりましたが、その分、小人数ならではの距離の近い、深い情報交換が可能になったというメリットもありました。

情報交換会の後には、リスマネ副委員長の石川透会員を講師に、ミニセミナー「よくわかるリスクマネジメント指導実務」テキストの読み合わせ会を開催しました。このテキストは、Profit内のリスマネ専用メニューに掲載されており、TKCサプライで購入可能(会員価格:税込1,430円)な、TKCリスマネ初心者がまず手に取るべき入門書です。

私自身、令和7年7月1日よりリスマネ委員長を拝命いたしましたが、もともと東京海上の代理店登録をしているだけで、リスマネ活動の経験も実績もほぼなく、「空気」のような存在でした。そのため、このテキストの存在はもちろん、委員会で準備されていた多くのツールにも当初は気づいていませんでした。

改めてProfitのリスマネ専用メニューを確認すると、研修動画、関与先に配布できるパンフレット、啓蒙資料、顧客管理資料など、豊富なツールが用意されていました。

代理店登録の有無や活動の有無にかかわらず、日々の巡回監査にも役立つ内容が満載です。興味を持たれた方は、ぜひ軽い気持ちでProfitを「ぱちっ」としてみてください。



軽い気持ちで「ぱちっ」としていただけると嬉しい  
Profitメニュー達はこちら

今回の委員会・部会(情報交換会)・ミニセミナーには、時間や事情の都合で一部のみ参加された方もいらっしゃいましたが、リスマネ委員会関係者9名、提携損保5名、TKC会員7名、計21名の方に参加いただきました。

一方で、周知期間や認知度の問題もあり、集客面に課題を残す結果となったのは残念で、リスマネ委員としては、悔しさの残る企画でもありました。

近年、多くの会員から「新規代理店登録ができるない」「代理店維持が難しい」「提携損保との連携

に課題がある」等の声が寄せられています。そのような厳しい状況下ではありますが、一人でも多くの方にリスマネに興味をもってもらい、一人でも多くの方に参加いただけるような活動をして、TKCリスマネを活性化していきたいと考えております。

今後とも温かい目で、そして時には、「ぶっ」と笑いながら見守っていただけますと嬉しいです。どうぞよろしくお願いします。

(リスクマネジメント推進委員長 岩田 圭史)



## 向き不向きより前向きに! やってみよう、企業防衛! — 2025年度 下期保険指導強化期間レポート —

### 「北海道が動いた2ヶ月間。現場に広がる熱気と挑戦!」

企業を守るために保険指導は、経営者の未来を守る大切な仕事です。しかし、日々の業務に追われる中で「後回し」になりがちなものも事実。

そこで、企業防衛制度推進委員会は、2025年10月～11月を「下期保険指導強化期間」とし、全道で一斉に動きました。

スローガンは…

### 「向き不向きより前向きに! やってみよう、企業防衛!」

この言葉を胸に、北海道の会員・監査担当者が一步を踏み出した2ヶ月間。その熱気をお届けします。

### ①全10支部で「友の会研修会」開催! 現場の声が響く

全支部で「友の会研修会」を実施。延べ388名が参加しました。

- ・札幌東・西支部では、金坂肇札幌東支部委員長が「経営助言としての保険指導・企業防衛」を研修。参加者からは「洞察力と理念が重要」「関与先への説明に自信が持てるようになった」「シリーズ化しており大切さを再認識した」との声。
- ・釧路支部では、TKC東北会の澁谷和会員を招き、「企業防衛は究極の経営助言」と題し、特別講演会を開催。なぜ会計事務所が保険指導を行うのか?具体的な自身の体験をもとに熱弁。
- ・小樽支部では、監査担当者3名が推進事例を発表し、現場での実践事例を共有。「現場の声が一番参考になる」との意見。

全支部、趣向を凝らして企業防衛推進に直結する研修会を開催。もちろんコンプライアンス研修

も実施し、保険指導業務における法令遵守の重要性も再確認しています。



札幌東・西支部研修会でグループディスカッションする参加者



釧路支部で澁谷会員の講演に聞き入る会場

### ②支部対抗戦で火花散る!

恒例の「支部対抗戦」を今年も開催。項目は新契約・就業不能・新規加入法人・標準保障額の4つ。

10月2日(木)、函館で行われた秋季大学前夜祭で組み合わせを発表し、各支部の士気は一気に



函館・秋季大学前夜祭で組み合わせを発表する駒井副会長・八森委員長

高まりました。

「お互い頑張りましょう!」と意気込む声や、戦略会議を開く支部もあり、強化期間がスタートしました。

### ③スローガンが現場を動かす!

下期強化期間スローガンを策定するために、企業防衛委員会メンバーと支部幹事からの公募で決まったスローガンは…

「向き不向きより前向きに!やってみよう、企業防衛!」

この言葉をポスターやハガキで周知し、強化期間を盛り上げました。

「このスローガンを見て、やる気が出た」という声も多く、現場のモチベーションアップに大きく貢献しています。



### ④キャラバン訪問で現場に熱を!

企業防衛委員会メンバーが会員事務所を訪問し、スローガンを唱和!

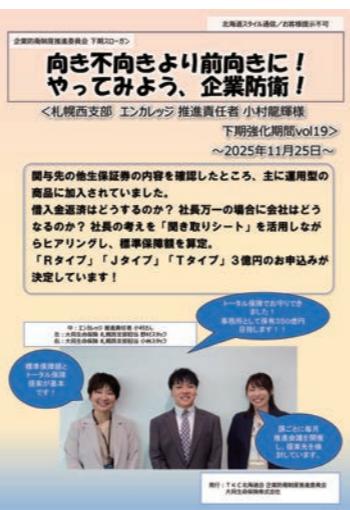
- ・駒井桂伺副会長(企業防衛担当)は各事務所で「企業防衛の重要性」を熱く語り、現場の士気を高めました。
- ・中村新太郎会員(札幌西委員長)、山田和訓会員(空知委員長)は支部会員を訪問し、強化期間の推進を依頼。
- ・マスターズ会副会長の加藤恵一郎会員、田中裕之会員も推進活動を実施。「マスターズ事務所の取り組みをモデルを全道に広げたい」との思いを共有。
- ・私自身も2日間にわたり、帯広支部の会員の方を訪問いたしました。その節は訪問させていただき、ありがとうございました。



### ⑤「北海道スタイル通信」特別号で情報共有

推進事例を紹介するメールを計22回配信し、情報共有を強化。

「他事務所の成功事例が参考になった」「メールを読むとやる気が出る」「文量も少なく写真もあり見やすい」と好評でした。



### 成果と次の挑戦

会員と監査担当者の皆さまのご推進とご協力により、下期強化期間目標のうち新契約・就業不能は達成いたしました!(新規加入関与先・実働率は未達成)

多くの事務所が「企業防衛」に前向きに取り組むきっかけをつくることができる2ヶ月間になったと感じています。

引き続き、関与先の完全防衛を目指して一緒に取り組んでいきましょう!

(企業防衛制度推進委員長 八森 恵一)



## 感謝とご報告

TKC大阪SCGサービスセンター 田中 光気

北海道会の会員の方々ならびに職員の皆さま、お変わりございませんでしょうか。ごぶさたしております。2021年4月に入社し、北海道センターへ配属されてから、2025年



9月までの4年半、大変お世話になりました。

私が北海道センターを離れてから、約2ヶ月がたちました(といってもまだ懐かしいと感じていただけの期間ではないと思いますが…笑)。

北海道センターでは、札幌東支部、西支部、函館支部を担当させていただきました。入社と同時に北海道の地に足を踏み入れたわけですが、最初は不安も大きく、目の前のことでの頭がいっぱいでした。そんな時、皆さまには本当に優しく、そして温かく接していただけたことは今でも鮮明に覚えております。改めて心より感謝申し上げます。

現在は大阪センターでSCGとして勤務しており、東支部と城北支部の2支部を担当させていただいております。10月に大阪センター着任後、11月に

センターが移転されることを知りました。転勤早々、バタバタしましたが、今は心機一転新しい気持ちで快適に業務をさせていただいております。

実は私、ラーメンが大好物でまだ2ヶ月ほどですが、すでに10店舗以上ラーメンを食べに行きました(健康面は諦めました)。

中でも特においしいと感じたラーメン屋をピックアップさせていただきました。もし、皆さまが大阪にいらっしゃるタイミングがございましたら、店選びの参考にしていただければ幸いです。

大阪センターではまだうまくいかないことが多いです。考え方をしているとき、お世話になった北海道会の会員の方々や職員の皆さまのお顔が浮かぶ瞬間がございます。本当に私の心の支えになっていたのだと強く実感しております。いつの日かまた皆さんお仕事できる日が来ることを願い、日々精進してまいります。最後になりますが、TKC北海道会のさらなるご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。



## 北海道会 会務動向

日	行事名
5	リスクマネジメント制度推進委員会・損保3部会・RMセミナー
5	苫小牧支部例会
7	正副会長会
7	総務委員会
7	書面添付推進委員会
7	旭川支部例会
10	租税判例研究会
10	中小企業支援委員会
11	空知支部例会
14	北医研研修会
16	資産活用委員会 大和部会視察研修会（～18日迄）
17	巡回監査・事務所経営委員会
18	資産対策研究会
18	小樽秋季大学実行委員会
19	会計事務所の高付加価値経営実践講座【職員編】
25	原点の会（会員）
26	原点の会（職員）
28	プラチナメンバーズクラブ
4	正副会長会
4	札幌東西支部合同例会
5	RMセミナー・東京海上部会
8	農業経営研究会研修会
8	システム委員会
8	函館支部例会
9	広報委員会
9	帯広支部例会
10	小樽支部例会
10	北見支部例会
11	All Hokkaidoフォーラム
15	ニューメンバーズ・サービス委員会・NMフォローセミナー
19	理事会
22	広報委員会

令和7年  
11月

令和7年  
12月



### 編集後記

editor's note

羊ヶ丘のふもとから〇〇を叫ぶ一編集後記に代えてー

あけましておめでとうございます。本年も「かいほう」をよろしくお願いします。

○♪満開の桜や色づく山の紅葉を この先いったい何度見ることになるだろう  
ひとつひとつ人生の扉を開けては感じるその重さ ひとりひとり愛する人たちのために生きていきたいよ  
I say It's fine to be 60 You Say it's alright to be 70  
And they say still good to be 80 But I'll maybe Live over 90 (竹内まりや 人生の扉)

○繁忙期ですね。業務多忙になると、といえば、時間の使い方が変わってきた。以前だと、予定の考え方  
ざっくりしていた。午前はここに行く、午後はここに行くなどと。時を経て、それがだんだん、午前の前半後  
半、午後の前半後半、夕方遅くの部ができ、早朝に何ができるかと、刻みが変わってきた。そして、時間  
が急に空いた時、その時間がどのくらいなのかによって、やることをチョイスする。昨年より続く、嵐のよう  
な業務を何とかこなしてきた。これを可能したのが、時間のやりくりと共に、「証憑ストレージサービス」か  
もしれない。遅まきながら、増えてきた。この味を覚えるともうやめられない。今年to be 60にはもうやめら  
れない。

(広報委員長 坂本 文彦)